

33 財田家住宅



設計：不詳
施工：不詳
竣工：19世紀前半頃
構造：主屋（茅葺） 軸組工法（伝統工法）
その他 軸組工法（在来工法）
所在地：西区押部谷町福住



押部谷町福住地区は、東西方向に流れる明石川の右岸（北側）のゆるやかな段丘上に形成されており、集落の北側には神戸電鉄や県道が通っています。

財田家住宅は、福住地区の中央部にあり、集落を貫く旧道からやや南側に入ったところに位置する平入の民家です。

正面を南側（川側）に向けて建ち、主屋の東側に付属棟、敷地北側には土蔵や離れが並んでいます。

また土堀で囲まれた前栽を有するなど、全体として格式ある屋敷構えを構成し、建築当時の茅葺屋根を守り続けている佇まいは地区の歴史的な景観資源の一つとなっています。

